

製品技術資料

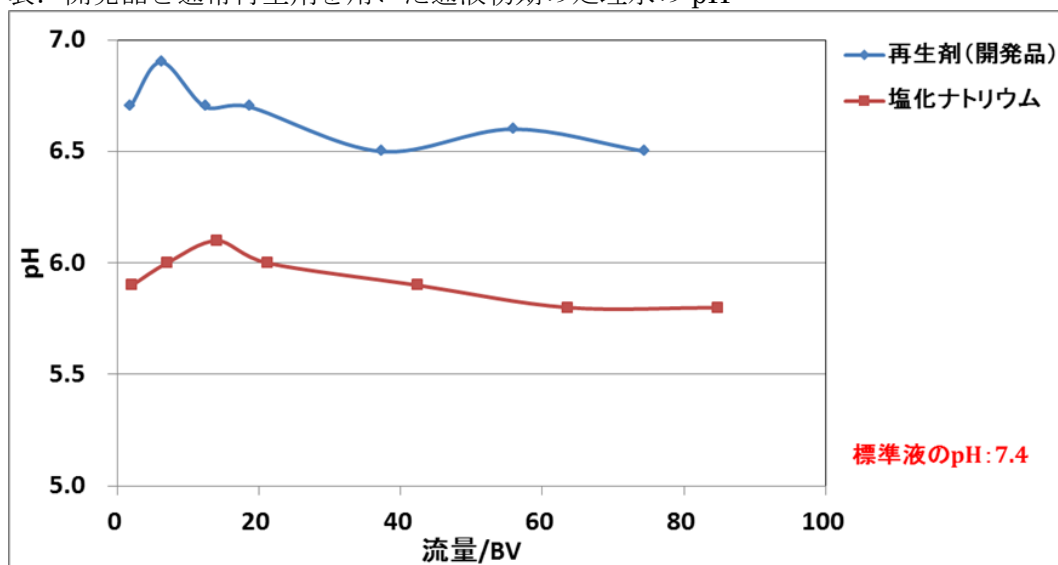
1. はじめに

硝酸性窒素除去用として強塩基性イオン交換樹脂が一般的に使用されていますが、原水の pH 及びイオン組成によって、処理水の pH が飲料水水質基準値 (pH 5.8) 以下になることが有ります。その対策として、基準値以上に戻るまで処理水を廃棄する方法が一般的ですが、採水量の低下に加え、排水処理にもコストがかかってしまいます。

2. 開発品紹介

弊社では、上記問題を解決すべく、通液初期の pH 低下を抑制するための新規再生剤の開発を行いました。当該開発品と、通常の再生剤 (塩化ナトリウム) を用いた場合の比較を以下に示します。

表. 開発品と通常再生剤を用いた通液初期の処理水の pH



※再生条件

再生レベル : 300g /L-R

洗浄水量 : 5BV

開発品を使用した場合、洗浄直後から飲料水水質基準値 (pH 5.8) を満たすため、処理水を廃棄する必要はありません。また、再生剤通液後の洗浄水の量を削減することも可能です。